

# 農作業の現場で話を聞く

4月22日に、2回目の農家訪問をしました。

夏の猛暑対策や後継者の問題など、共通する課題がありながらも、それぞれが工夫し、個性を生かして農業を行っている現場を見せていただくことができました。

## ミサイル予算増よりも農業政策予算を、の声も

甘味があり、そのおいしさに感動しました。また、別の農家ではビニールハウスで枝豆の作業中の手を休めてお話を聞かせていただきました。去年は猛暑で根がや

られて生育不足だったり、葉が先に黄色くなったり、葉が先に黄色くなったりして、出荷量が減ったそうです。暑さに強い品種を開発してほしい、と切実に語ってました。



ちょうどハウスで小松菜を収穫していた農家では、区内22校に小松菜をおろしているとのこと。

夏場、ハウスの中での収穫作業は大変だが、少しでも皆さんの役に立てば、と語っておられました。土から抜いたばかりの小松菜を食べさせていただきましたが、茎が柔らかく、みずみずしく

カブの収穫作業中だった農家は、日本の農業政策、食糧安保の話など、さまざまな話をしてくれました。

共産党には批判的な意見をお持ちのようでしたが、ミサイルを迎撃するような装備に莫大な予算

をかけるより、エネルギーや食糧自給率を上げる方が重要なのではないかと、積極的な補助政策を

講じなければ農業を守れないし、後継者を育てられない、と、まったくその通りだと思います。

# 区内農家訪問活動



どの農家も厳しい状況の中で、生産者として責任や誇りを胸に頑張っています。しかし、区内でも農地はどんどん減って、建売住宅に代わっているのが現状です。食を守る農家が、農業で食べていける。後継者が希望を持って農業に従事できる。そのために政治はどう責任を果たすのかが問われています。

### なおみのさわやかエッセー



#### 絶対また行くと決めた韓国

行く先々で、驚きや感動の連続だった韓国の視察調査。どこで何を食べてもおいしくて、一緒に動いたみんなとの交流も楽しくて、あっという間に過ぎた3日間でした。

最終日の西大門刑務所では、占領時代に日本がどれほど韓国の人たちにひどい拷問を行ったか、どれほど多くの罪なき人々がここで命を奪われたか、が展示されていて、今思い出しても苦しくて胸が痛みます。

バスや電車の運賃は、交通会社が違っていても電車とバスの乗り継ぎでも、交通カードを使えば乗った距離の通算で料金を払うシステム。だから、安い。でも、交通カードを出すのがもたつくと、ちょっと運転手さんがイライラする。さすがパリパリ(早く早く)文化です。

食事の時に何種類かついてくるおかずは、「お代わり自由」の店が多い。覚えてたの韓国語で、お代わりしたり注文したりするのも、ドキドキ、ワクワク。

絶対また行く。もっと韓国の歴史も勉強したい。もっともっと韓国語も勉強する。



### 和泉なおみの幹事長日誌



- 5月7日 火 下北沢周辺商店街聞き取り調査
- 5月8〜9日 財政委員会管外視察
- 5月15日 日水 都市計画審議会に向けた打合せ  
都市再開発について岩見教授のレク
- 5月16日 木 包括的性教育学習会
- 5月16日 木 副知事から議案説明  
定例会前懇談
- 5月18日 土 東京社保協総会であいさつ  
荒川トーク集会で都政報告
- 5月20日 月 賃金引き上げについて松丸教授のレク
- 5月22日 水 議会運営委員会理事会・委員会
- 5月23日 木 知事選・都議補選アピールの記者会見
- 5月26日 日 広川まさのり中野区議の区政報告会で都政報告
- 5月27日 月 都知事選候補者選定委員会
- 5月28日 火 都政新報インタビュー
- 5月29日 水 議会運営委員会理事会  
開会本会議
- 5月30日 木 朝鮮学校補助金復活を求める都民集会
- 5月31日 金 MXテレビインタビュー  
議会運営委員会理事会

日本共産党都議会議員  
**和泉なおみの**  
**生活・年金・法律相談**  
2024年7月10日(水)午後2時より  
事前にお電話ください  
場所 和泉なおみ事務所